

会報

第53号 平成24年11月

発行所

社団法人 福島県浄化槽協会
福島市野田町一丁目16番35号
電話 (024) 531-1778
FAX (024) 531-0880
URL <http://www.f-jkjk.com>
メールアドレス info-fjk@f-jkjk.com 題字は大河原正一会長 筆

優位性生かし復興支援

第38回通常総会を開催 公益社団法人移行へ定款変更

当協会は5月25日、福島市のウェディングエルティで第38回通常総会を開き、事業計画などを決議し、25年度の公益社団法人への移行に向け、定款を変更した。24年度は、集団移転地区などにおける整備促進を国・県等に働きかけるなど、浄化槽の優位性をPRし、関係事業を通して震災復興に協力するとともに、既設単独処理浄化槽の合併処理浄化槽への転換促進、新築に対する県費補助制度の復活要望、法定検査受検率の向上などに取り組む。

総会には会員等約100人が出席。大河原正一会長は「復興には福島の再生を信じる強い気持ちと実行力が必要。豊かな自然、水環境などを取り戻すため、一日も早い復興に向けた協会活動を展開する」と述べ、復旧・復興での生活排水処理施設整備としての浄化槽の採用、設置費等補助の復活・拡充、適正な維持管理（年間一括契約）の推進などに取り組む方針を示した。

来賓の五十嵐孝県生活環境部一般廃棄物課総括主幹兼副課長、高橋通夫福島市下水道部長が祝辞を述べた。

議事では事業計画、今年度活動スローガンなどを決めた。事業計画は、①協会組織の拡大強化の確立、②講習会・研修会の実施、③広報啓発活動の推進、④浄化槽法定検査受検率の向上、⑤浄化槽保証制度の推進⑥関係行政機関等との連携協調、⑦東日本大震災における復興への協力 ― など。

具体的には迅速・低コスト・省スペースといったメリットをPRし復旧・復興の過程で浄化槽整備の促進を図るとともに、避難指示解除区域などの被災状況を調査し、合併処理浄化槽への転換が図られるよう補助拡充等を要望する。

また既設単独処理浄化槽の転換については補助拡充の要望活動を展開し、水環境保全の観点からも普及啓発に取り組む。新築に対する県費補助制度の復活は協会一丸となって強力に要望。法定検査の受検率向上に向けては、保守点検・清掃・法定検査の必要性について周知を図る。11条検査（BOD測定）は県内全域での完全実施を目指す。

スローガンには、「住民の早期帰還を目指す避難指示解除準備区域における生活排水処理は、浄化槽で整備されるよう国・県・市町村に向け、浄化槽の優位性を強調したPR活動を展開しよう」など6項目を据えた。



24年度事業計画などを決めた総会

定款は、公益社団法人への移行認定申請に向け、関係法令に適合させるため変更した。認定申請を行い、25年4月1日からの移行を目指す。

総会の席上、環境大臣表彰などを受賞者に伝達し、協会発展に貢献した功労者に表彰状を贈った。受賞者を代表し、齋藤和夫斎藤電建工業社長が謝辞を述べた。

※ 表彰者を5面に掲載

境野検査委副委員長が講演

総会に先立ち、生活評論家・薬剤師の境野米子浄化槽検査委員会副委員長が「放射能に負けない健康生活」と題して特別講演を行った。境野副委員長は、内部被ばくを防ぐ調理法や免疫力をつける生活習慣などをアドバイスした。



講演する境野副委員長

法や免疫力をつける生活習慣などをアドバイスした。

県内で458基、半数以上が地上設置型

仮設住宅浄化槽の設置状況調査

東日本大震災に原発事故が重なり、福島県内では、23市町村が災害救助法に基づく応急仮設住宅（以下「仮設住宅」）を要請し、平成24年8月23日現在、16,695戸が完成し、32,747人が入居している。仮設住宅の生活排水は、下水道または浄化槽で処理され、458基の浄化槽が稼働している。浄化槽法第7条検査（以下「7条検査」）の結果に基づき、設置状況、課題を報告する。

50人以下の小規模槽が7割

仮設住宅団地内に設置される浄化槽は、宅地開発の工期や大型浄化槽の納期の関係から、ひとつの団地に複数を設置するケースが多かった。設置規模の内訳は、処理対象人員50人以下が324基（70.7%）、51人～500人以下が134基（29.3%）。窒素除去型は188基と全体の約4割を占めた。

施工は「地上設置型」、浄化槽の下部を埋設し上部を盛土によって覆う「半地下埋設型」、浄化槽本体を完全に埋設する「地下埋設型」等の設置方法が採用された。工期が比較的短いとされる地上設置型が全体の半数以上を占め、ほとんどの浄化槽メーカーが地上設置型の施工割合が高い中、1社のみ半地下か、地下型を選択していた。

検査の結果、地上設置型の大半が保温対策、耐光塗装が施されておらず本体が露出していた。本体上部が

高所となるが、歩廊（足場）や階段、転落防止柵の設置など、維持管理を容易に安全に行う構造としては不十分な施設もあった。

半地下埋設型は、掘削土砂を盛土とすることで保温対策、上部点検スペースが確保でき、効率的で工期も短縮できる工法である。ただ、盛土の突き固めや表土の流出防止が不十分で、本体上部や送気管が露出し、変形や破損の恐れがある施設が多かった。



地上設置型の仮設住宅浄化槽

地下埋設型は、特に「浄化槽から発生する音」に対する入居者のクレームが少なく、ほかの工法と比較し騒音トラブルが少ないと言える。

地上設置型の保温対策を設置と同時にいった浄化槽は12.9%と少なかった。対策としては発砲ウレタンの吹き付け、周囲をネット、コンパネ等で覆う工事が施された。

通常の施工方法導入も選択肢

仮設住宅は、2年間で限度に簡単な住宅を仮設し、一時的な居住の安定化を図る災害救助法に基づき建設されたため、仮設住宅用浄化槽の施工方法は、地上設置型が多く採用された。しかし、維持管理用の歩廊や保温対策の費用を考慮すると、半地下埋設型または、地下埋設型を優先的に選択・採用すべきかと考えられた。

浄化槽は、通常時であっても「短時間で設置」「広い土地を必要としない」「短い管渠」等の特徴から、通常時の施工方法を導入することも選択肢の一つである。

■ 仮設住宅浄化槽の設置状況と7条検査の実施状況

| 設置場所 | 内訳 | 建設戸数(戸) | 設置基数(基) | 7条検査※(単位:基) | | | 窒素除去型(内数) | |
|-------|------|---------|--|-------------|------|----|-----------|-----|
| | | | | 仮設住宅 | 複合用途 | 小計 | | |
| 1 | 福島市 | 686 | 18 | 18 | 12 | 7 | 19 | 3 |
| 2 | 郡山市 | 507 | 41 | 41 | 38 | 3 | 41 | 4 |
| 3 | いわき市 | 1,587 | 49 | 47 | 29 | 17 | 46 | 4 |
| 4 | 南相馬市 | 2,108 | 123 | 115 | 89 | 26 | 115 | 56 |
| 5 | 相馬市 | 1,222 | 61 | 60 | 55 | 5 | 60 | 22 |
| 6 | 二本松市 | 905 | 42 | 42 | 36 | 6 | 42 | 31 |
| 7 | 伊達市 | 126 | 10 | 10 | 10 | 0 | 10 | 10 |
| 8 | 田村市 | 181 | 7 | 7 | 7 | 0 | 7 | 3 |
| 9 | 本宮市 | 475 | 33 | 32 | 27 | 5 | 32 | 30 |
| 10 | 国見町 | 47 | 4 | 4 | 3 | 1 | 4 | 0 |
| 11 | 川俣町 | 230 | 8 | 8 | 6 | 2 | 8 | 0 |
| 12 | 大玉村 | 552 | 8 | 8 | 3 | 5 | 8 | 3 |
| 13 | 鏡石町 | 27 | 1 | 1 | 1 | | 1 | 0 |
| 14 | 三春町 | 618 | 42 | 42 | 37 | 5 | 42 | 15 |
| 15 | 新地町 | 573 | 23 | 23 | 17 | 6 | 23 | 7 |
| 計 | | 9,844 | 470 | 458 | 370 | 88 | 458 | 188 |
| 下水道地域 | | 6,851 | 上記仮設浄化槽区域以外に 須賀川市、白河市、矢吹町、西郷村、会津若松市、会津美里町、猪苗代町、広野町 | | | | | |

■メーカー別の施工方法と地上設置型の保温対策状況

| メーカー名 | 施工方法 | 地 上 設 置 型 | | 半地下埋設型 | 地 下埋設型 | 合 計 | 地 上設置型の割合 | |
|-------|------|----------------|----------------|-------------------------------|----------------|--------------|---------------|---------|
| | | 未改善 | 対策済(割合) | | | | | |
| F社 | | 74 | 74 | 0(0.0%) | 29 | 15 | 118 | (62.7%) |
| A社 | | | | | 70 | 14 | 84 | (0.0%) |
| H社 | | 35 | 16 | 19(54.3%) | 37 | 2 | 74 | (47.3%) |
| N社 | | 57 | 54 | 3(5.3%) | 7 | 3 | 67 | (85.1%) |
| K社 | | 35 | 35 | 0(0.0%) | 2 | | 37 | (94.6%) |
| De社 | | 33 | 32 | 1(3.0%) | 1 | 1 | 35 | (94.3%) |
| Da社 | | 11 | 11 | 0(0.0%) | 9 | | 20 | (55.0%) |
| Nn社 | | 11 | 1 | 10(90.9%) | | | 11 | (100%) |
| R社 | | | | | 6 | | 6 | (0.0%) |
| その他 | | 2 | 対策不要 | (2)※ | 2 | 2 | 6 | (33.3%) |
| 計 | | 258 (56.3%) | 223 (87.1%) | 33 (12.9%) 対象 (256基) | 163 (35.6%) | 37 (8.1%) | 458 (100%) | (56.3%) |

再利用か、新設か早急に検討を

今後は、仮設住宅浄化槽の再利用、廃棄処分が大きな課題となる。当県では、木造仮設住宅の約6,500戸を復興住宅に活用する方向で、具体的な検討に入った。この復興住宅に仮設住宅浄化槽の再利用が可能なのか、または、新規浄化槽を設置するのかを早急に検討する必要がある。特に、50人槽以下の小規模浄化槽

が約70%を占め、中・大型浄化槽とあわせ、仮設住宅浄化槽の撤去後の検討が必要となる。

また「東日本大震災復興特別区域法」に基づき、被災市町村の【復興整備計画】が策定され、防災集団移転事業や災害公営住宅の建設など、具体的な復興計画・整備がなされてきている。今後、浄化槽が復興に向けたまちづくりや地域づくりにどのように貢献できるのか、さらに「災害に強い浄化槽」の普及や「水環境の保全」の面からも早急に対応することが必要である

浄化槽行政の課題を学ぶ

市町村職員研修会

被災槽の取り扱い、整備事業の効率運用など

県合併処理浄化槽普及促進協議会（会長＝高松義行本宮市長）は8月28日、郡山市の郡山ユラックス熱海で、24年度浄化槽整備事業市町村職員研修会＝写真＝を開き、浄化槽行政における課題等について理解を深めた。

研修会には会員市町村、県、賛助会員から約70人が出席。①被災浄化槽の取り扱い②法定検査③浄化槽法・建築基準法など関係法令（設置から廃止届まで）④浄化槽整備事業（完了検査、施工に関する審査の留意点）⑤維持管理講習会（教材・説明資料等） — について研修した。

被災浄化槽に関する研修では初めに、添田明憲県一般廃棄物課副主査が、復興に向けた浄化槽整備事業の効率的な運用、被災浄化槽の撤去時の取り扱いなどを説明。鴨志田貴之南相馬市下水道課主査、五ノ井智徳金山町上下水道課主査が被災した経験を踏まえ、津波や豪雨により浄化槽に土砂が大量に流入した場合の対



処方法、土砂を含む汚泥の処分方法などを紹介した。

法定検査については、当協会の鳴原己八専務理事が受検率向上に協力を呼びかけた。

関係法令、浄化槽整備事業、維持管理講習会については山田胤雄全国浄化槽推進市町村協議会事務局長が講師を務め、浄化槽教室を活用した適正な維持管理の周知徹底、住民からの問い合わせなどへの適切な対応方法などをアドバイスした。

最後に意見交換を行い、保守点検業者に対する行政指導のあり方などについて、出席者から活発な意見が出された。

補修事例踏まえた施工、仮設浄化槽の管理など研修

適正な施工・維持管理技術に関する講習会

当協会は10月4日、郡山市の郡山ユラックス熱海で、浄化槽の適正な施工・維持管理技術に関する講習会を開き、出席した工事・保守点検・清掃業者、県・市町村の浄化槽担当職員ら約450人が関係法令や被災浄化槽の補修事例を踏まえた施工方法、応急仮設住宅用浄化槽の維持管理技術などについて研修した。

適正な施工、維持管理業務の遂行に必要な知識の習得、技能の向上を図り、関係法令に基づく適正な事業活動を展開することで、浄化槽に対する住民の信頼を確保しようと毎年開催している。

初めに大河原正一会長があいさつし、「震災による



実務に即した講義を熱心に受ける参加者

浄化槽の被害は少なく、復旧・復興がスムーズに進み、改めて浄化槽の良さが見直された」と述べ、災害に強い浄化槽を強調。今後、展開が見込まれる仮の町構想や復興公営住宅などに浄化槽設置が広がる可能性を示した。

講習では、添田明憲県一般廃棄物課副主査が、維持管理における関係法令を解説。管理者とのトラブルにつながるケースがあったとして、清掃については保守点検業者による通知義務と通知書様式の順守を求めたほか、管理者の誤解を招かない適切な保守点検を要請。災害時の対応については環境省策定の「災害時の浄化槽被害等対策マニュアル（第2版）」の活用を呼びかけた。

続いて、東日本大震災直後から県内外の被災地で数多く浄化槽補修工事を行ってきた加藤光雄福島工商社長が、被災傾向や具体的な補修工法、工事の際の注意事項などを紹介。地震対策につながるとして基本に忠実な設置工事の実施をアドバイスし、補修工事における専門的技術と知識の重要性などを示した。

関根重樹県水・大気環境課主査が25年4月1日以降、

猪苗代湖・裏磐梯湖群流域の新設浄化槽を窒素・リン除去型とすることを義務付けた改正条例を説明。補助金の取り扱いなどについても紹介した後、手塚圭治フジクリーン工業第1・第2開発部長が「浄化槽の適正な維持管理技術」と題して応急仮設住宅用浄化槽全般の不具合事例、同社のPCN型をモデルに保守点検・清掃、試運転調整のポイントを解説。超コンパクト型浄化槽（CFⅡ型）の構造・機能、維持管理の留意点を説明した。

竹村雅彦鶴見製作所東北支店技術営業課副長が水中ポンプ設置・維持管理技術を説明し、当協会浄化槽検査委員会の須藤亮主事兼検査員が「一般住宅の人員比による構造種別のBOD適合率」について発表した。

会場ではハウステック、ニッコー、フジクリーン工業が最新型浄化槽のカットモデルを展示。笠原理化学工業（水質測定器等）、日環商事（維持管理器材）、メド産業（プロフ）、鶴見製作所（水中ポンプ）、サナ（浄化槽用微生物資材）、福交電算システム（浄化槽維持管理システム）、福島コンピュータシステム（同）も新商品、いち押し商品を紹介し技術をアピールした。

リン除去義務化に対応

猪苗代湖水環境保全講習会

当協会は10月23日、猪苗代町の町農村環境改善センターで、猪苗代湖の水環境保全に関する施工・維持管理技術研修会を開き、猪苗代湖周辺の自治体、関係業者ら参加し、条例改正で設置が義務化される窒素・リン除去型高度処理浄化槽などについて学んだ。

年々悪化する猪苗代湖の水質保全対策に取り組む県は、猪苗代湖及び裏磐梯湖沼群の水環境の保全に関する条例を改正。富栄養化の原因となる「リン」の流入防止を図るため、新たに浄化槽を設置する場合、窒素・リン除去高度処理型浄化槽の設置を義務付けた。



フジクリーン工業・手塚部長による構造の解説

研修会には県、会津若松市、郡山市、猪苗代町の浄化槽担当者、施工・維持管理業者約50人が出席した。関根重樹県生活環境部水・大気環境課主査が条例改正の背景、助成制度の概要などを説明し、3市町の担当者がそれぞれの浄化槽整備事業の状況を紹介。

鳴原己八当協会専務理事が猪苗代湖周辺地域の維持管理状況などを説明した後、手塚圭治フジクリーン工業第1・2開発部長が、窒素・リン除去型高度処理浄化槽の処理方式の特徴、維持管理上の留意点などを講義した。講義の途中で2班に分かれ、手塚部長がCRX型カットモデルによる内部構造の説明を行い、小林昌俊同社第1営業部課長が鉄電解ユニット等の実物を使用して解説した。参加者から日常業務での疑問点などが出されるなど、実機を前に活発な質疑応答が展開された。

仮設の課題など全国に発信 盛岡で技術研究集会

第26回全国浄化槽技術研究集会が10月17日、18日の2日間、岩手県盛岡市のいわて県民情報交流センター、盛岡市民文化ホールで開かれた。当協会の須藤亮主事兼検査員が研究発表し、鳴原己八専務理事が仮設住宅用浄化槽に関して情報提供した。また昨年度発表した研究課題が、23年度浄化槽研究奨励・楠本賞優秀課題に選ばれた棚木康仁主事兼検査員が表彰を受けた。

研究集会には、全国から浄化槽技術研究会会員、大学・研究機関の浄化槽研究者、浄化槽行政担当者、浄化槽業界関係者が出席。研究・事例発表、シンポジウムを通して最新情報の提供、意見交換などを行った。主催は公益財団法人・日本環境整備教育センター。

須藤主事は、初日の研究発表会で「一般住宅の構造種別によるBOD適合率」について発表。鳴原専務理事は、2日目の浄化槽行政担当者研究会で「震災を受けた市町村における仮設住宅用浄化槽の状況と課題」についての情報提供し、仮設住宅用浄化槽の設置から維持管理、撤去までの課題点を説明。今後の災害時における仮設用浄化槽の迅速な設置や維持管理が的確になされるよう、被災県としての経験を踏まえた問題提起を行った。

今回は、宮崎県宮崎市で開催される。

棚木主事が楠本賞受賞

式典の席上、楠本賞の贈呈式が行われ、昨年研究発表した「補修事例からみた残存汚泥に起因する一次処理装置の破損について」が優秀課題に選ばれた棚木主事に、入山文郎日本環境整備教育センター理事長から表彰状が手渡された。



壇上で表彰を受ける棚木主事

楠本賞は、全国浄化槽技術研究集会で発表された研究課題のうち、特に優秀と認められた課題に対し贈られる。昨年10月の第25回研究集会で発表された18課題の中から選ばれた。

棚木主事の研究課題は、「清掃時に嫌気ろ床槽内をエア攪拌し、ろ材内部の汚泥を確実に剥離させ、ろ材の脱落・浮上の事故防止を図る」という、新たな清掃方法を提案するもの。福島県浄化槽生涯保証システムにより補修工事が行われた浄化槽の事故原因を解析し、事故の約7割を「ろ材の脱落・浮上」が占めたことを受け、(協)県北地区浄化槽管理協会と連携して研究を進めた。

なお、研究結果を踏まえ、3月より南会津環境整備(協業)においても、県北地区と同様に清掃時のエア攪拌を行い、的確な作業を実施している。

第38回通常総会表彰受賞者

- 環境大臣表彰・浄化槽関係事業功労 (伝達)
蛭田 光 俊 (いわき支部)
- 国土交通省土地・建設産業局局長表彰 (伝達)
大河原 正 一 (郡山支部)
- 全国浄化槽団体連合会会長顕彰状 (伝達)
蛭田 光 俊 (いわき支部)
- 全国浄化槽団体連合会会長表彰状 (伝達)
杉 本 達 也 (郡山支部)
- 全国浄化槽団体連合会会長感謝状 (伝達)
野 田 傳 (郡山支部)
- 福島県浄化槽協会会長表彰状
長 林 久 夫 (貝 外)
齋 藤 和 夫 (伊達支部)
大 内 美 和 (二本松支部)
須 藤 五 郎 (二本松支部)
佐 藤 博 (須賀川支部)

平成23年度 市町村別法定検査実施状況

表中の()内の数字は11条検査 (BOD測定) の実績

| 市町村 | 法第7条検査 | | | | | | | | | | | 法第11条検査 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|-------|-----------|-------|---------|----------|-----|-----------|-------|---------|----------|---------|-----------|-------|---------|----------|-------|-----------|-----|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|-------|-------|
| | 単独処理 | | | | | 合併処理 | | | | | 単独処理 | | | | | 合併処理 | | | | | | | | | | | | |
| | 適正 基數 | 割合 | 不適正 基數 | 割合 | 計 基數 | 適正 基數 | 割合 | 不適正 基數 | 割合 | 計 基數 | 適正 基數 | 割合 | 不適正 基數 | 割合 | 計 基數 | 適正 基數 | 割合 | 不適正 基數 | 割合 | 計 基數 | | | | | | | | |
| 福島市 | 215 | 60.1% | 124 | 34.6% | 19 | 5.3% | 358 | 175 | 21.5% | 464 | 57.1% | 174 | 21.4% | 813 | 5,294 | 68.8% | 1,836 | 23.9% | 565 | 7.3% | 7,695 | 5,469 | 64.3% | 2,300 | 27.0% | 739 | 8.7% | 8,508 |
| 会津若松市 | 64 | 49.2% | 52 | 40.0% | 14 | 10.8% | 130 | 85 | 24.4% | 216 | 62.1% | 47 | 13.5% | 348 | 822 | 53.8% | 584 | 38.2% | 122 | 8.0% | 1,528 | 907 | 48.3% | 800 | 42.6% | 169 | 9.0% | 1,876 |
| 郡山市 | 172 | 40.5% | 190 | 44.7% | 63 | 14.8% | 425 | 64 | 7.1% | 581 | 64.4% | 257 | 28.5% | 902 | 2,065 | 48.7% | 1,675 | 39.5% | 499 | 11.8% | 4,239 | 2,129 | 41.4% | 2,256 | 43.9% | 756 | 14.7% | 5,141 |
| いわき市 | 279 | 46.9% | 284 | 47.7% | 32 | 5.4% | 595 | 289 | 18.5% | 1055 | 67.6% | 216 | 13.8% | 1,560 | 4,396 | 67.4% | 1,854 | 28.4% | 271 | 4.2% | 6,521 | 4,685 | 58.0% | 2,909 | 36.0% | 487 | 6.0% | 8,081 |
| 白河市 | 30 | 37.0% | 50 | 61.7% | 1 | 1.2% | 81 | 11 | 7.1% | 104 | 66.7% | 41 | 26.3% | 156 | 385 | 48.0% | 332 | 41.4% | 85 | 10.6% | 802 | 396 | 41.3% | 436 | 45.5% | 126 | 13.2% | 958 |
| 南相馬市 | 48 | 23.5% | 110 | 53.9% | 46 | 22.5% | 204 | 18 | 18.6% | 64 | 66.0% | 15 | 15.5% | 97 | 752 | 71.3% | 242 | 22.9% | 61 | 5.8% | 1,055 | 770 | 66.8% | 306 | 26.6% | 76 | 6.6% | 1,152 |
| 須賀川市 | 39 | 43.8% | 46 | 51.7% | 4 | 4.5% | 89 | 14 | 7.2% | 132 | 68.0% | 48 | 24.7% | 194 | 582 | 58.3% | 324 | 32.4% | 93 | 9.3% | 999 | 596 | 50.0% | 456 | 38.2% | 141 | 11.8% | 1,193 |
| 喜多方市 | 36 | 37.1% | 55 | 56.7% | 6 | 6.2% | 97 | 91 | 30.1% | 167 | 55.3% | 44 | 14.6% | 302 | 1,173 | 61.6% | 566 | 29.7% | 165 | 8.7% | 1,904 | 1,264 | 57.3% | 733 | 33.2% | 209 | 9.5% | 2,206 |
| 相馬市 | 35 | 31.5% | 40 | 36.0% | 36 | 32.4% | 111 | 24 | 23.3% | 60 | 58.3% | 19 | 18.4% | 103 | 943 | 83.7% | 180 | 16.0% | 3 | 0.3% | 1,126 | 943 | 42.7% | 180 | 8.2% | 3 | 0.1% | 360 |
| 二本松市 | 105 | 56.8% | 67 | 36.2% | 13 | 7.0% | 185 | 166 | 36.6% | 207 | 45.7% | 80 | 17.7% | 453 | 1,939 | 72.7% | 561 | 21.0% | 168 | 6.3% | 2,668 | 2,105 | 67.4% | 768 | 24.6% | 248 | 7.9% | 3,121 |
| 田村市 | 27 | 24.8% | 60 | 55.0% | 22 | 20.2% | 109 | 15 | 8.6% | 102 | 58.3% | 58 | 33.1% | 175 | 84 | 19.3% | 227 | 52.1% | 125 | 28.7% | 436 | 99 | 16.2% | 329 | 53.8% | 183 | 30.0% | 611 |
| 伊達市 | 133 | 67.5% | 63 | 32.0% | 1 | 0.5% | 197 | 135 | 36.5% | 228 | 61.6% | 7 | 1.9% | 370 | 2,658 | 80.3% | 629 | 19.0% | 24 | 0.7% | 3,311 | 2,793 | 75.9% | 857 | 23.3% | 31 | 0.8% | 3,681 |
| 本宮市 | 43 | 42.6% | 54 | 53.5% | 4 | 4.0% | 101 | 38 | 26.4% | 75 | 52.1% | 31 | 21.5% | 144 | 1,064 | 68.4% | 350 | 22.5% | 142 | 9.1% | 1,556 | 1,102 | 64.8% | 425 | 25.0% | 173 | 10.2% | 1,700 |
| 桑折町 | 38 | 76.0% | 12 | 24.0% | 0 | 0.0% | 50 | 22 | 37.9% | 35 | 60.3% | 1 | 1.7% | 58 | 691 | 83.4% | 125 | 15.1% | 13 | 1.6% | 829 | 713 | 80.4% | 160 | 18.0% | 14 | 1.6% | 887 |
| 国見町 | 9 | 31.0% | 16 | 55.2% | 4 | 13.8% | 29 | 12 | 34.3% | 19 | 54.3% | 4 | 11.4% | 35 | 326 | 84.7% | 53 | 13.8% | 6 | 1.6% | 385 | 338 | 80.5% | 72 | 17.1% | 10 | 2.4% | 420 |
| 川俣町 | 40 | 61.5% | 19 | 29.2% | 6 | 9.2% | 65 | 69 | 36.1% | 91 | 47.6% | 31 | 16.2% | 191 | 465 | 67.6% | 193 | 28.1% | 30 | 4.4% | 688 | 534 | 60.8% | 284 | 32.3% | 61 | 6.9% | 879 |
| 大玉村 | 11 | 29.7% | 22 | 59.5% | 4 | 10.8% | 37 | 6 | 30.0% | 2 | 10.0% | 12 | 60.0% | 20 | 348 | 71.0% | 111 | 22.7% | 31 | 6.3% | 490 | 354 | 69.4% | 113 | 22.2% | 43 | 8.4% | 510 |
| 鏡石町 | 7 | 31.8% | 12 | 54.5% | 3 | 13.6% | 22 | 1 | 3.4% | 18 | 62.1% | 10 | 34.5% | 29 | 31 | 23.7% | 85 | 64.9% | 15 | 11.5% | 131 | 32 | 20.0% | 103 | 64.4% | 25 | 15.6% | 160 |
| 天栄村 | 4 | 57.1% | 2 | 28.6% | 1 | 14.3% | 7 | 1 | 12.5% | 4 | 50.0% | 3 | 37.5% | 8 | 112 | 47.1% | 78 | 32.8% | 48 | 20.2% | 238 | 113 | 45.9% | 82 | 33.3% | 51 | 20.7% | 246 |
| 南会津町 | 14 | 40.0% | 19 | 54.3% | 2 | 5.7% | 35 | 14 | 14.3% | 45 | 45.9% | 39 | 39.8% | 98 | 586 | 72.8% | 151 | 18.8% | 68 | 8.4% | 805 | 600 | 66.4% | 196 | 21.7% | 107 | 11.8% | 903 |
| 下郷町 | 10 | 83.3% | 2 | 16.7% | 0 | 0.0% | 12 | 20 | 31.7% | 37 | 58.7% | 6 | 9.5% | 63 | 190 | 58.3% | 108 | 33.1% | 28 | 8.6% | 326 | 210 | 54.0% | 145 | 37.3% | 34 | 8.7% | 389 |

平成23年度不適正の内訳

| 項目 | 件数 | | | | 合計 |
|--|--------|--------|--------|--------|-------|
| | 7条合併 | | 11条合併 | | |
| | 51人槽以上 | 51人槽以下 | 51人槽以上 | 51人槽以下 | |
| (外観検査) | | | | | |
| (設置状況) | | | | | |
| • 槽の水平、浮上又は沈下、破損又は変形等の状況 | | | | | |
| 01. 水平の状況 | 4 | | 12 | (9) | 1 |
| 02. 浮上または沈下の状況 | 3 | 1 | 7 | (13) | 5 |
| 03. 破損又は変形の状況 | | 17 | 11 | (2) | 8 |
| • 漏水の状況 | | | | | |
| 04. 漏水の状況 | 4 | 1 | 109 | 15 | 52 |
| 05. 蓋流の状況 | | | | | 25 |
| • 浄化槽上部の状況 | | | | | |
| 06. 上部スラブの打設の有無 | | | | | |
| 07. 高上げの状況 | 1 | 1 | 13 | | 8 |
| 08. 浄化槽上部及び周辺の利用または構造の状況 | 2 | 3 | 1 | 5 | (2) |
| • 雨水、土砂等の槽内への流入状況 | | | | | |
| 09. 雨水の流入状況 | 6 | | 4 | 11 | (1) |
| 11. その他の特殊な排水の流入状況 | | | | 4 | 6 |
| • 内部設備の固定状況 | | | | | |
| 13. ポンプ設備の固定状況 | 3 | 2 | | | |
| 14. 接触材、ろ材、担体等の固定及び保持状況 | 3 | 15 | 1 | 137 | (37) |
| 15. ばっ気装置の固定状況 | | | 3 | 1 | (1) |
| 16. 攪拌装置の固定状況 | | | | | 2 |
| 17. 汚泥返送装置及び汚泥移送装置の固定状況 | | | | | 3 |
| 18. 循環装置の固定状況 | | | | | |
| 19. 逆洗装置及び洗浄装置の固定状況 | | | | | |
| 20. 膜モジュールの固定状況 | | | | | 4 |
| 21. 消毒設備の固定状況 | 1 | 5 | 4 | | (1) |
| 22. 越流せきの固定状況 | | | 48 | 1 | 8 |
| 23. 隔壁、仕切板及び移流管(口)の固定状況 | | | 1 | | (1) |
| 24. その他の内部設備の固定状況 | | | 1 | | |
| • 設置に係るその他の状況 | | | | | |
| 25. 設置場所の状況 | | | | | 6 |
| 26. 流入管渠及び放流管渠の設置状況 | 24 | 1 | 18 | 7 | 72 |
| 27. 送風機の設置状況 | 7 | 1 | 34 | 2 | 63 |
| 28. 増設等の状況 | | | | | 1 |
| (設置状況の小計) | 58 | 5 | 281 | 31 | 419 |
| (設備の稼働状況) | | | | | |
| • ポンプ、送風機及び駆動装置の稼働状況 | | | | | |
| 29. ポンプの稼働状況 | | | 4 | 12 | 4 |
| 30. 送風機の稼働状況 | 3 | 1 | 93 | 7 | 190 |
| 31. 駆動装置及び攪拌装置の稼働状況 | | | | | 3 |
| • ばっ気装置及び攪拌装置の稼働状況 | | | | | |
| 32. ばっ気装置の稼働状況 | | | | | 7 |
| • 汚泥返送装置、汚泥移送装置及び循環装置の稼働状況 | | | | | |
| 34. 汚泥返送装置及び汚泥移送装置の稼働状況 | | | | | 2 |
| 35. 循環装置の稼働状況 | | | | | 1 |
| • 制御装置及び調整装置の稼働状況 | | | | | |
| 38. 制御装置の稼働状況 | | | | | 17 |
| 39. 調整装置の稼働状況 | | | | | 4 |
| 問題のあった検査項目(複数回答可) | | | | | |
| • 生物膜又は活性汚泥の状況 | | | | | |
| 41. 活性汚泥の状況 | | | | | |
| (設備の稼働状況の小計) | 5 | 1 | 97 | 7 | 233 |
| (水の流れ方の状況) | | | | | |
| • 管渠、相及び各単位装置間の水流の状況 | | | | | |
| 43. 流入管渠(路)の水流の状況 | | | 3 | 1 | |
| 44. 放流管渠(路)の水流の状況 | 1 | | 1 | 1 | 1 |
| 45. 各単位装置間の水流の状況 | 2 | | 1 | | |
| • 各単位装置内の水位及び水流の状況 | | | | | |
| 47. 原水ポンプ槽及び放流ポンプ槽の水位の状況 | 149 | 10 | 7 | 5 | 1 |
| 48. 流量調整槽の水位及び水流の状況 | | 1 | | | 5 |
| 49. 嫌気床槽の水位及び水流の状況 | | | | | 23 |
| 52. 生物ろ過槽、担体流動槽の水位及び水流の状況 | 3 | 1 | | | |
| 53. 平面酸化床及び散水ろ床の水流の状況 | | | 2 | 3 | |
| 54. 沈殿槽及び処理水槽の水位及び水流の状況 | | | 6 | 2 | 1 |
| 55. その他の単位装置の水位及び水流の状況 | 1 | | | | |
| • 汚泥の堆積状況及びスカムの生成状況 | | | | | |
| 58. 腐敗室、沈殿分離槽及び嫌気床槽の汚泥の堆積状況またはスカムの生成状況 | | | 5 | 15 | 2 |
| 59. ばっ気槽及び接触ばっ気槽の汚泥の堆積状況またはスカムの生成状況 | | | 1 | | |
| 60. 生物ろ過槽及び担体流動槽の汚泥の堆積状況またはスカムの生成状況 | | | | 8 | |
| 61. 沈殿槽の汚泥の堆積状況またはスカムの生成状況 | | | 27 | 2 | 5 |
| 62. 消毒槽の汚泥の堆積状況またはスカムの生成状況 | | 1 | | | 15 |
| 65. 汚泥処理設備の汚泥の堆積状況またはスカムの生成状況 | | | | | 1 |
| • 水の流れ方に係るその他の状況 | | | | | |
| 66. 汚泥の流出状況 | 5 | | 42 | 3 | 36 |
| (水の流れ方の状況の小計) | 161 | 13 | 95 | 12 | 31 |
| (使用の状況) | | | | | |
| • 特殊な排水等の流入状況 | | | | | |
| 67. 油脂類の流入状況 | | 1 | | | 8 |
| 68. 処理対象以外の排水の流入状況 | 3 | | 3 | 13 | |
| • 使用に係るその他の状況 | | | | | |
| 70. 流入汚水量、洗浄用水等の使用の状況 | | 1 | | | (6) |
| (使用の状況の小計) | 3 | 2 | 3 | 44 | (6) |
| (消毒の実施状況) | | | | | |
| • 消毒の実施状況 | | | | | |
| 73. 消毒剤の有無 | 15 | | 12 | 59 | 2 |
| 74. 処理水と消毒剤の接触状況 | | | 2 | 1 | 3 |
| (消毒の実施状況の小計) | 15 | | 14 | 62 | 2 |
| (その他) | | | | | |
| • 処理対象人員不足、処理能力の低下、実流入汚水量の過負荷 | 3 | | 85 | 71 | 24 |
| (その他の小計) | 3 | | 85 | 71 | 24 |
| (水質検査) | | | | | |
| • 塩化物イオン濃度 | | | 1 | | 4 |
| • 生物化学的酸素要求量 | 1 | | 1 | | 4 |
| (水質検査の小計) | 1 | | 1 | | 4 |
| (管理検査) | | | | | |
| • 記録の有無(使用開始直前の記録を含む) | 70 | 10 | 87 | 5 | 182 |
| • 保守点検の有無(保守点検未実施) | | | 11 | 15 | (10) |
| • 保守点検の回数 | 70 | 10 | 98 | 5 | 197 |
| (清掃記録) | | | | | |
| • 記録の有無(清掃未実施) | 8 | | 570 | 45 | 1,911 |
| • 清掃の回数 | 8 | | 11 | 1 | 8 |
| (清掃記録の小計) | 324 | 31 | 1,255 | 173 | 2,995 |
| 合計 | | | | | 468 |

| 問題のあった検査項目(複数回答可) | | | | | |
|--|-----|----|-------|-----|-------|
| • 生物膜又は活性汚泥の状況 | | | | | |
| 41. 活性汚泥の状況 | | | | | |
| (設備の稼働状況の小計) | 5 | 1 | 97 | 7 | 233 |
| (水の流れ方の状況) | | | | | |
| • 管渠、相及び各単位装置間の水流の状況 | | | | | |
| 43. 流入管渠(路)の水流の状況 | | | 3 | 1 | |
| 44. 放流管渠(路)の水流の状況 | 1 | | 1 | 1 | 1 |
| 45. 各単位装置間の水流の状況 | 2 | | 1 | | |
| • 各単位装置内の水位及び水流の状況 | | | | | |
| 47. 原水ポンプ槽及び放流ポンプ槽の水位の状況 | 149 | 10 | 7 | 5 | 1 |
| 48. 流量調整槽の水位及び水流の状況 | | 1 | | | 5 |
| 49. 嫌気床槽の水位及び水流の状況 | | | | | 23 |
| 52. 生物ろ過槽、担体流動槽の水位及び水流の状況 | 3 | 1 | | | |
| 53. 平面酸化床及び散水ろ床の水流の状況 | | | 2 | 3 | |
| 54. 沈殿槽及び処理水槽の水位及び水流の状況 | | | 6 | 2 | 1 |
| 55. その他の単位装置の水位及び水流の状況 | 1 | | | | |
| • 汚泥の堆積状況及びスカムの生成状況 | | | | | |
| 58. 腐敗室、沈殿分離槽及び嫌気床槽の汚泥の堆積状況またはスカムの生成状況 | | | 5 | 15 | 2 |
| 59. ばっ気槽及び接触ばっ気槽の汚泥の堆積状況またはスカムの生成状況 | | | 1 | | |
| 60. 生物ろ過槽及び担体流動槽の汚泥の堆積状況またはスカムの生成状況 | | | | 8 | |
| 61. 沈殿槽の汚泥の堆積状況またはスカムの生成状況 | | | 27 | 2 | 5 |
| 62. 消毒槽の汚泥の堆積状況またはスカムの生成状況 | | 1 | | | 15 |
| 65. 汚泥処理設備の汚泥の堆積状況またはスカムの生成状況 | | | | | 1 |
| • 水の流れ方に係るその他の状況 | | | | | |
| 66. 汚泥の流出状況 | 5 | | 42 | 3 | 36 |
| (水の流れ方の状況の小計) | 161 | 13 | 95 | 12 | 31 |
| (使用の状況) | | | | | |
| • 特殊な排水等の流入状況 | | | | | |
| 67. 油脂類の流入状況 | | 1 | | | 8 |
| 68. 処理対象以外の排水の流入状況 | 3 | | 3 | 13 | |
| • 使用に係るその他の状況 | | | | | |
| 70. 流入汚水量、洗浄用水等の使用の状況 | | 1 | | | (6) |
| (使用の状況の小計) | 3 | 2 | 3 | 44 | (6) |
| (消毒の実施状況) | | | | | |
| • 消毒の実施状況 | | | | | |
| 73. 消毒剤の有無 | 15 | | 12 | 59 | 2 |
| 74. 処理水と消毒剤の接触状況 | | | 2 | 1 | 3 |
| (消毒の実施状況の小計) | 15 | | 14 | 62 | 2 |
| (その他) | | | | | |
| • 処理対象人員不足、処理能力の低下、実流入汚水量の過負荷 | 3 | | 85 | 71 | 24 |
| (その他の小計) | 3 | | 85 | 71 | 24 |
| (水質検査) | | | | | |
| • 塩化物イオン濃度 | | | 1 | | 4 |
| • 生物化学的酸素要求量 | 1 | | 1 | | 4 |
| (水質検査の小計) | 1 | | 1 | | 4 |
| (管理検査) | | | | | |
| • 記録の有無(使用開始直前の記録を含む) | 70 | 10 | 87 | 5 | 182 |
| • 保守点検の有無(保守点検未実施) | | | 11 | 15 | (10) |
| • 保守点検の回数 | 70 | 10 | 98 | 5 | 197 |
| (清掃記録) | | | | | |
| • 記録の有無(清掃未実施) | 8 | | 570 | 45 | 1,911 |
| • 清掃の回数 | 8 | | 11 | 1 | 8 |
| (清掃記録の小計) | 324 | 31 | 1,255 | 173 | 2,995 |
| 合計 | | | | | 468 |